

第2回烏山城めぐつけた！ 烏山城の歴史紐解く

市教育委員会と市文化協会は、11月14日(土)、今年で2回目となる「烏山城跡講演会」を烏山公民館で開催しました。

この講演会は、栃木県を代表する城郭として、注目が集まる烏山城について、多くの人々に知ってもらうこと、観光なども広く活用することを目的に昨年からは開いているものです。当日は、県内外から城跡愛好家80人が参加し、烏山城の魅力に触れました。

この日、予定されていた見学会は雨のため中止となりましたが、多くの著書や論文を執筆し、活躍している県立真岡高等学校教諭の松木明夫さん、日本考古



松木さんによる講演。

学協会員の茂木孝行さんを講師に迎え、講演会を行いました。

松木さんは、江戸時代の那須家について、改易と再興に至るまでを講演。茂木さんは、「比べてわかる烏山城」と題し、金山城、笠間城、岩井山城といった全国各地に残る城跡の石垣など烏山城跡のそれらとを比較し、紐解いて講演しました。

茂木さんは、「烏山城をただ現状で保存するだけでなく、広く知ってもらうことが重要。各地の城跡には、多くの観光客が訪れる所とそうでない所がある。その原因を探ること、今後の活かし方が見えてくるのではないかと話していました。

旧烏山藩主大久保家の子孫大久保忠訓さん 直筆の掛け軸を寄贈

旧烏山藩主大久保家第12世当主の大久保忠訓さん自身が直筆した掛け軸を寄贈されました。

静岡県浜松市に住む大久保さん。93歳になった現在も毎年10月に行われる寿亀山神社の例大

祭には参加され、元気な姿をみせています。

また、この掛け軸は、文化振興課で保管し、今後、イベントなどで展示する予定です。



寄贈された掛け軸を囲む大谷市長と屋敷自治会のみなさん。

那須烏山市ジオパーク構造 烏山小6年生が化石や地層を観察

11月18日(水)、19日(木)、20日(金)に、烏山小学校6年生の児童98人が、理科の授業の一環で、神長の谷口弘海さん、大野春美さんの敷地内の崖で地層などの観察を行いました。

当日は、地学ガイドの吉澤時明さんの説明を聞きながら、地層の様子を調べ、観察をしました。

途中には、吉澤さんが、これまでに市内で発見したクジラなどの化石を見せると児童たちは驚嘆の声をあげていました。また、地元住民の協力で、岡崎一郎



吉澤さんの説明を受けながら地層を見学する児童。

「この地層は化石が見つかりそう。自分でも掘ってみたい」と話していました。

市では、現在、さまざまな自然遺産や歴史遺産を活用した地域振興などを目的として「那須烏山市ジオパーク」の認定を目指しています。

那須烏山市地域雇用創造協議会がシンポジウム参加
本市の取り組みを全国へ発信！

手作り募金箱で

子どもたちが街頭募金に挑戦

市社会福祉協議会では、小学生ボランティアチャレンジスクールの一環と



スーパー利用者に募金を呼びかける。

して、赤い羽根募金活動期間中の10月24日(土)、市内のスーパーマーケットで、街頭募金活動を行いました。

これは、子どもたちにボランティア活動に対する理解を深めてもらうとともに、ボランティアをするきっかけをつくってもらおうと開かれているもので、今年で2回目となりました。

当日は、8月に開かれた募金箱作りに参加した小学生や地域福祉活動助成団体などから32人が街頭募金活動に挑戦。子どもたちは、手作りした募金箱を抱えながら、一生懸命に大きな声で募金を呼びかけました。

市地域雇用創造協議会では、

10月15日(木)、東京都の東京国際交流館で開かれた「実践型地域雇用創造事業シンポジウム」地域の魅力、再発見！新たな視点で、交流を深めよう(厚生労働省主催)に参加しました。

このシンポジウムは、「実践型地域雇用創造事業」を構想中の地域や実施している地域での効果的な事業展開を目的に、地域のアイデアを生かした先進的な取り組みなどを紹介し、雇用について考える機会を持つ場です。

今回は、全国で実践型地域雇用創造事業を行う65地域の中から、本市と三重県名張市が先進的な事業展開をしている地域として、事例紹介を行いました。

本市の紹介では、「那須烏山市の豊かな自然の恵みから産業と雇用を創出し、地域を再生するプロジェクト」と題し、本市で行ってきた事業などを発表しました。市地域雇用創造協議会事業推進リーダーの佐藤大通さんは、「本市には様々な資源があるが、最大の資源は地域に暮らす『人』であるのではないかと、気付くこ

とができた」と、取り組みをふり返りました。

また、パネルディスカッションでは、まち・ひと・しごと創生会議の有識者委員である樋口美雄慶応義塾大学教授をコーディネーターに、パネラーとして、大谷範雄市長、亀井利克三重県名張市長、地域雇用開発支援ワーキングチーム副座長の野長瀬裕二山形大学大学院教授や藻谷浩介日本総合研究所主席研究員が参加しました。ディスカッションのテーマは、「地方版総合戦略に基づく具体的な取り組みや背景」

「地域資源の活用にあたって工夫した点」の2つ。大谷市長は、「環境・観光資源を含めた地域資源を有効活用して雇用創出を図り、自主性・独自性をもって地方創生に取り組みたい」と述べました。講師では、樋口コーディネーターが、「地域活性化には、目的に向かい多くの人を動かすことができるリーダーや、最初からノーポートが必要。那須烏山市を手本にしたい」と話し、本市の取り組みを多くの地域に周知することができました。



上…事例発表をする市地域雇用創造協議会のメンバー。下…ディスカッションに参加する大谷範雄市長。



県指定有形文化財 旗函鐺(個人)

縦8.4cm、横7.7cm、厚さ0.6mm、丸形の鐺です。材質は鉄、両面に片切彫で松樹が刻まれ、表面には銀と銅で象嵌された流れ旗が大きく表現されています。

作者は、江戸時代末期頃に栃木(現:栃木市)を中心に活動していた金工師の平田幸助です。晩年には烏山に移り住んでいます。

鐺には中心穴の両側に「野州栃木住 平田幸助」の刻銘があり、栃木で作られたことが分かります。郷土に所縁のある金工師の作品として大変貴重です。



ミツバチについての講演を聴く児童。



慣れないヤスリに悪戦苦闘した「マイはし作り」。

第10回那須烏山市育樹祭

森や里山の大切さ学ぶ

市と市緑化推進委員会では、11月10日(火)、烏山小学校で第10回「那須烏山市育樹祭」を開き、烏山小学校、境小学校、七合小学校の5年生の児童や教職員、各種団体など約200人が参加しました。

同祭は、子どもや市民に緑や森林に対する理解を深めてもらうおうと、「水と緑のふるさとづくり」をテーマに、烏山地区と南那須地区で1年交代に開かれているものです。式典では、大谷範雄市長が「育樹祭をきっかけに、森や里山の大切さを考えてほしい」とあいさつ。その後、2015マロニエメイツの

田崎瑞穂さんが「とちぎの元気な

森づくりのメッセージ」を披露しました。続いて、ミツバチを育成する養蜂家の仕事などについての映像鑑賞が行われ、児童たちは自然の中でミツバチを管理していくことの大変さを学びました。また、木工体験として「マイはし作り」にも挑戦。慣れない手つきで紙ヤスリを使いながら、自分だけの「はし」を完成させました。境小学校5年の両方萌々さんは、「育樹祭に参加して、地球温暖化についてもっと考えていこうと思った」と話していました。

那須烏山市「DCMホームマックの森」 130人の手で森に緑を！

11月4日(火)、小原沢の「わらび荘」跡地で、那須烏山市「DCMホームマックの森」植樹会が行われ、DCMホームマック(株)の関係者や県、市観光協会、烏山聖マリ幼稚園、烏山保育園の園児など約130人が参加しました。

これは、県と市、DCMホームマック(株)が健全な森づくり活動をするため、平成26年度に締結した「栃木県企業等の森づくり協定」の一環として行われてい

るもの。昨年からは植樹が始まり、今年で2回目となりました。

当日は、トチノキやヤマザクラ、ケヤキなど、「カミネツコン」という再生紙ダンボール型枠を使用したバイオブロック工法で330本を植樹しました。

カミネツコンには、園児により植物の絵などが描かれ、参加者の手によって大切に植樹されました。

丁寧に植樹する園児たち。



みどり幼稚園 園児30人 牛の乳しぼりにチャレンジ

酪農組合青年部では、11月19日(木)、酪農とちぎ農業協同組合宇都宮支所で、酪農体験事業の一環として「乳しぼり体験」を開き、烏山みどり幼稚園の年長組の園児30人が乳しぼりに挑戦しました。

園児たちは、酪農組合のメンバ―に乳のしぼりかたを教わったあと、いよいよ体験がスタート。最初は間近で見る牛に緊張していた様子でしたが、牛の体に触れると「あつたかい」と笑みを見せ、慣れない手つきで一

懸命に乳をしぼっていました。

体験を終えた黒須渉夢さん(滝田)は、「牛乳が苦手だけど、飲めるようになりそう。また挑戦してみたい」と笑顔で話していました。

また、酪農組合青年部の黒尾賢一代表は、「子どもたちに、命や食の大切さを知ってもらおうとともに、酪農という仕事はどういったものなのかを体験を通して少しでも伝えられれば嬉しい」と話していました。



緊張しながらも乳しぼりに挑戦。

荒川小学校で

歌のフェスティバル

荒川小学校では、11月20日(金)、第4回「歌のフェスティバル」が開かれました。

これは、歌声が響き合う学校を目標して毎年開いているものです。当日は、大勢の保護者や地域住民が見守る中、児童たちはこの日のためにクラスごとに練習を重ねた歌の成果を披露しました。また、全校合唱や音楽クラブによる演奏も行われ、体育館には美しい音色が響きわたりました。



柳家禽太夫さんによる小唄で会場は大笑い。

次世代を担う子どもたちの文化体験事業 中学生が伝統文化に触れる

11月4日(木)、南那須中学校で「次世代を担う子どもたちの文化芸術体験事業」が行われ、同校の全生徒や、地域住民など約300人が伝統文化に親しみました。

これは、文化庁、県、市教育委員会が、次代の文化の担い手となる子どもたちの育成や芸術鑑賞能力の向上を目的に、小・中学校で開いているものです。

当日は、落語家の柳家禽太夫さん、柳家三之助さん、太神楽師の鏡味仙志郎さんが太鼓や笛などで寄



歌の練習の成果を披露。

烏山高校で持久走大会

市内を高校生が駆け抜ける

烏山高校では、11月7日(土)、毎年恒例となった「持久走大会」が開かれ、全校生徒が市内を力走しました。

旧烏山女子高と統合後に始まった同大会は、今年で6回目となり

席巻子を披露。その後、生徒が実際に小唄と太鼓の体験をしました。

最後は、鏡味さんによる太神楽、禽太夫さんと三之助さんによる落語が披露され、会場は終始笑い声と拍手の渦に包まれました。



小腸の長さをエプロンシアターで学ぶ園児たち。

七合保育園で出前講座 楽しく食育のお勉強！

七合保育園では、10月21日(木)、「とちぎっ子食育出前講座」が開かれ、年少組から年長組の園児33人が遊びを通して食の大切さを学びました。

この出前講座は、県が委託するとちぎ食育応援団によって、県内の保育園や幼稚園、児童施設などで食育の指導・実演を行うものです。

当日は、エプロンシアターなどを活用しながら、朝食の大切さなど食べることに興味をわくような講座が行われました。また、最後には、食育〇×クイズで野菜の成長に関する問題などが出題され、ゲーム感覚で楽しく食育を学びました。



上:ピストルの合図で一斉にスタート。
下:ゴール前のラストスパート。

ました。コースは、男子が14.8kmで、女子が7.7km。同校の校庭をスタートし、市内を周って再び校庭に戻ります。

沿道には、多くの地域住民が生徒たちを激励しようと集まり、手

を振って応援しました。生徒たちは、ゴールすると達成感に満ち溢れたいい表情をみせていました。また、走り終えると、PTAによる「豚汁」が振る舞われ、疲れた体を癒しました。

子ども館「子育て講演会」

親子で防災について考える

子ども館では、10月31日(土)、那須烏山市オピニオンリーダーを中心に、「子育て講演会」を開き、親子連れ12組30人が参加しました。

今年のテーマは、「子どもたちと防災について学ぼう」。消防署の職員を招き、子どもでも回答できる防災クイズや災害に関するアニメを上映し、家庭で火災を防ぐための知識が紹介されました。

その後、消防自動車の見学が行われ、車内に乗ったり消防自動車の仕組みなどを消防署員に説明を受けながら見学したりしました。

子どもと3人で参加したという青木奈緒さん(鴻野也)は、「火災の怖さを改めて実感した。子どももアニメを見て『あぶないね』と言っていたので、親子でできる防災は、やっていこうと思う」と話していました。



防災について学んだ親子たち。

地域で見守る体制作りに向けて

認知症サポーター養成講座

11月19日(木)、保健福祉センターで「認知症サポーター養成講座(地域薬剤師スキルアップ研修会主催)」を開き、介護や医療施設の職員、地域住民など約50人が認知症の人への対応を学びました。

講座では、市職員から本市の高齢化の現状や介護サービス利用者の傾向などが紹介された後、ピノキオ薬局開発渉外兼社外研修担当取締役の田中友和さん、同薬局地域支援事業部副部长で薬剤師の村田良実さんから、「認



約50人が受講した認知症講座。

知症とはなにか」や「認知症の種類」「認知症の人への支援」などスライドショーを使った講演が行われました。その中で、村田さんは、「認知症の人の不安や苦しみを理解することが大切」と話し、具体的な対応のポイントなどが参加者に伝えられました。薬局に勤務している齋藤美幸さん(大里)は、「知識を持つことで、お客さんへの対応の引き出しが増えて良いと思った」と話していました。

フットサル日本代表が先生に!

子どもたちに「夢」を伝える

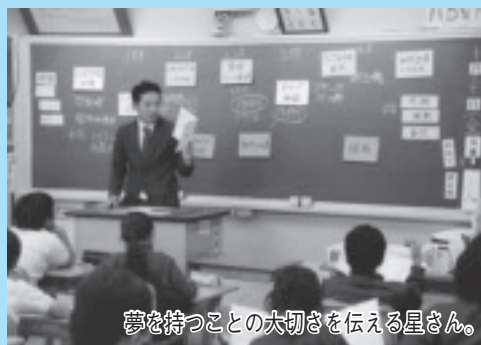
市教育委員会では、毎年、市内全小学校で「夢の教室」を開いています。

この教室は、日本サッカー協会(JFA)が、「JFAこころのプロジェクト」の一環として、Jリーグ選手をはじめとする各種競技の現役選手やOB・OGが講師となり、夢を持つこと、仲間と協力することの大切さなどを講義やゲームを通して伝えようと開いているものです。

10月30日(金)には、七合小学校に日本代表としても活躍するフットサル選手の星翔太さんが



全員でアイディアを出し合ったゲーム。



夢を持つことの大切さを伝える星さん。

講師として訪れました。前半の「ゲームの時間」では、児童たちがひとつの目標に向かって積極的にアイデアを出し合い、全員で協力して課題を達成しました。また、後半の「トークの時間」では、星さんが自らの体験談をもとに、夢を持つことの大切さについて児童たちと話し合いました。星さんは、「いくつでもいいから夢を持ってほしい。また、自分を支えてくれる家族や仲間を大事にしてほしい」と話していました。

八溝そば街道推進協議会

新秋そばの出来栄を試食

八溝そば街道推進協議会(國井豊会長)では、10月29日(木)、松月庵で「新秋そばの試食会」を開き、同協議会の会員など約60人が参加しました。

そば夢サロン「梁山泊」の廣木克臣さんは「今年のそばは昨年比べて1等級が大幅に増え、今までにないほどモノがいい。1月にそば生産者やそば店が集い、肥料などの勉強会を開いた

成果だと思う。ぜひ、地域のみなさんにも味わってほしい」と講評しました。

また、同協議会では、参加店29店舗の協力を得て、「八溝そば街道スタンプラリー」の実施や「そばまつり」の開催など積極的に活動をしています。

今後も県内外に向けて八溝のそばを広める活動を行うこととしています。



新秋そばを試食する協議会の会員たち。

JR烏山線利用 今年も市民号が運行!

市では、JR烏山線に乘車することを利用して市民号の交

流、行政区の活性化を図ろうと、第8回「那須烏山市民号」を行

ました。

10月25日(月)から27日(水)にかけて、「能登雨晴海岸と日本一の宿『加賀屋』に泊まる2泊3日」に49人。11月12日(木)から14日(土)にかけては、「西津軽五能線民話のふるさと遠野周遊3日間」に29人が参加し、観光を楽しみました。

現地では、観光名所を巡ったり、ご当地グルメを楽しんだり、日常を忘れゆつくりとした時間を過ごすことができました。

那須烏山市の魅力伝える

「とちぎ田舎の歩き方」開催

県では、栃木県が誇る「食の街道」がお勧めする地域の魅力に触れ、学び、味わいながら農村の魅力を再発見するツアーとして、「とちぎ田舎の歩き方」を開いています。今年は、食の10街道を巡る全9ツアーが開かれ、本市でも八溝そば街道推進協議会が協力し、11月8日(日)に「八溝そば街道編&いい芳賀いちご夢街道編」が開かれました。

ツアーには、市内外から82人が参加。山あげ会館を発着点に島崎酒造のどうくつ酒蔵や龍門の滝をウォーキングで巡ったほか、市内のそば店で昼食をとりました。その後、バスツアーとして、芳賀町でいちご団地などを見学し、1日を楽しみました。



烏山中3年生 出前講座で議会を体験

烏山中学校3年生149人が、10月27日(火)、28日(水)、授業の一環で議会がどんな仕事をしているかを学ぶため、6班に分かれて南那須庁舎の議場を訪問しました。

議会事務局の担当職員から、「議場内のルール」や「市と議会の役割」に関する説明が行われたほか、議長や市長などの役割で模擬議会も行いました。

議長を務めた大沼莉生さんは、「神聖な雰囲気味わえた。今度は、実際に議会を傍聴してみたい」と話していました。



議会の仕事を学ぶ生徒たち。



10月の市民号に参加した皆さん。



11月の市民号に参加した皆さん。

七合公民館まつりと収穫祭

文化・収穫の 秋を満喫

七合公民館（高野則雄館長）では、11月8日（日）、七合会（木村保司会長）と合同で、「七合公民館まつり」と「どろんこ田んぼ体験事業収穫祭」を同時に開催し、地域住民など約200人が訪れました。館内では、七合公民館祭りとして、シルバー大学OBの鈴木初男さん（野上）による手品ショーや、歌う友の会（吉沢）礼子会長による合唱が披露され、子どもからお年寄りまで楽しみました。また、地域住民が手がけた水彩画や盆栽、写真などの作品展も開かれ、多くの人が足を運びました。



にぎわう収穫祭。



水彩画や盆栽などが並ぶ展示会場。



大勢の人が楽しんだ手品ショー。



多くの人を魅了したコンサート。

いかんべ語りの会×烏山語りの会 民話発祥の地で歴史や先人の思いに触れる

いかんべ語りの会（磯田トヨ子会長）と烏山語りの会（大喜正昭会長）では、11月17日（火）、民話の里巡り「錦秋の那須烏山を訪ねて」を開きました。

これは、本市に古くから伝わる民話をそれぞれ発祥の地で語り、聞くことで歴史と先人たちの思いに触れてもらおうと、市内2つの語りの会が初めて協力して行われたものです。

当日は、市内外から36人が参加し、鴻野山の長者ヶ平、熊田の刺抜き地蔵、蛇姫様がまつられている

という太平寺や龍門の滝、烏山大橋を散策。イチヨウやモミジの紅葉する景色なども楽しみながら、各地の民話が語られました。

栃木市から訪れた志鳥桂子さんは、「発祥の地に訪れることで、室内で民話を聞いていたときよりも、当時のことを想像しながら聞くことができた。景色も良く、来て良かった」と話していました。

両語りの会では、今後も協力体制を整え、市内に伝わる民話を広めるために積極的に活動をしていくこととしています。



ぶんぶんと倉沢大樹ジョイントコンサート 迫力満点の演奏と歌声を披露

11月8日（日）、烏山公民館で、シンガーの山田ぶんぶんさんとエレキトーン奏者の倉沢大樹さんによる「ジョイントコンサート」歌えパンパン昭和なでしこ後援」が開かれ、子どもからお年寄りまで約300人がコンサートを楽しみました。

当日は、倉沢さんのエレキトーンの伴奏に合わせて、山田さんが、中

島みゆきさんの「糸」や世界的にも有名な「アヴェ・マリア」、山田ぶんぶんのオリジナル曲「大きな秋見つけた」など10曲余を披露しました。

また、「倉沢大樹ミニライブ」も行われ、迫力満点のエレキトーンの演奏に観客からは盛大な拍手が送られました。

お年寄りと子育て世代が交流



子育て世代と交流する
ふれあいの里利用者たち。

11月3日(火)横枕ふれあいの里(横枕伝承センター)で「横枕ふれあいの里と子育て世代交流事業」を行いました。

この事業は、市が行う地方創生事業の一環で初めて行われたものです。当日は、同ふれあいの里の利用者や市内の親子連れ64人が様々な体験を通して交流しました。

体験では、竹とんぼ作りやサツマイモ掘りが行われ、子どもたちは、お年寄りに竹とんぼを

うまく飛ばすコツなどを教わりながら交流を深めました。また、ふれあいの里スタッフから、蒸したサツマイモやすいとん汁が振る舞われ、参加者は温かい手料理に舌つづみを打っていました。

親子3人で参加した小林奈津子さん(鴻野山)は、「2歳の娘も初めてのサツマイモ掘りを楽しそうにやっていたので良かった。地元の人との交流も嬉しい。また参加したい」と話していました。

街に賑わいを興す会

街に賑わいを興す会(小川三雄会長)では、11月23日(月)、「着物で古民家と紅葉狩り」を開き、市内外からの参加した46人が和服に身を包みました。また、市国際交流協会の日本語教室に通う外国人6人が参加し、日本の文化を体験しました。

当日は、烏山公民館に集合した後、「ほたるの里の古民家おおぎす」へ。古民家内を見学したほか、烏山語りの会による民話語

着物で市内を巡る

りが行われ、どこか懐かしさを感じる民話に耳を傾けました。午後には、同日、島崎酒造「とうくつ酒蔵」で行われた近代化遺産全国一斉公開2015の「とうくつコンサート」を鑑賞。参加者たちは優雅なひと時を過ごしました。

同会では、さまざまな事業や催しを通して、城下町「那須烏山」が、「和服の似合う街」というイメージづくりに取り組んでいます。



大木須の古民家に立ち寄った参加者。

興野農産物直売所で新そばまつり



大鍋で作ったけんちん汁。

10月25日(日)、興野農産物直売所で「新そばまつり」が開かれ、早朝から多くの人でにぎわいました。

当日は、新そばを使ったざるそばや新鮮な野菜、杵でついた餅などが販売され、来場者たちは地元産の味覚に親しみました。特に大鍋で作ったけんちん汁は毎年大人気で、今年も大勢の人が行列をつくるほどの盛況ぶりでした。また、サツマイモ掘りも行われ、老若男女問わずバケツいっぱいになるまでサツマイモを掘る姿が見られました。

高瀬農産物直売所で秋の大感謝祭



野菜や加工品の販売も大盛況。

高瀬農産物直売所では、11月8日(日)、日頃の感謝を込めて「秋の大感謝祭」を開きました。

当日は、あいにくの空模様となりましたが、早朝から大勢の人が訪れました。特に、大なべで作られた「けんちんうどん」は、冷えた身体が温まると好評を博しました。野菜の大安売りも大盛況で、中には、両手いっぱい抱えて帰る人も…。毎年、この日を楽しみにしている常連客も多いようで、直売所はにぎわいをみせていました。



盛り上がりをもせたバンド演奏。

曲畑自治会などによる実行委員会では、11月15日(日)曲畑公民館で「そりはたふれあいまつり」を開き、地域住民約150人が交流を深めました。

そりはたふれあいまつり 地域間で交流深める

29回目となった今年は、あいくの空模様に見舞われ、毎年、屋外で行っていた運動会は公民館内でミニ運動会に。パン食い競争や障害物競走など子どもからお年寄りまで楽しみました。その後、那須烏山消防署による「けむり体験」や「消防自動車見学」、那須烏山警察署による「交通安全教室」、芸能大会など盛りだくさんの催しが行われました。芸能大会では、バンド演奏やフラダンス、詩吟など様々なステージが繰り広げられ、多くの地域住民でにぎわいました。

また、手作りの「けんちん汁」などが振る舞われたほか、「おでん」や「お好み焼き」などが販売されました。



焼きいもバクッ(横枕やきいも祭りより)。

まちの話題

◇「広報那須烏山」では、みなさんからの楽しい話題を募集しています。地域の行事や変わった出来事などをお知らせください。可能な限り取材に伺います。

総合政策課広報統計担当
☎0287-83-1112



多くの人でにぎわう会場。

横枕でやきいも祭り

横枕青年団(萩原英雄やきいも祭り実行委員長)では、11月21日(日)、横枕伝承センターで、第5回「やきいも祭り」を開き、市内外から約200人の家族連れが訪れました。

今年はやきいも祭りは、地域の子どもたちも交え、苗植えから収穫までを一貫して行ったサツマイモを使用し、やきいもを振る舞いました。熱々のやきいもを受け

取った来場者たちは、ホクホクした食感に笑みを浮かべていました。また、模擬店では、「フランクフルト」や「ポップコーン」のほか、「ちたけうどん」が初めて販売され、好評を博しました。そのほか、同青年団の年間活動報告の映像放映や、栃木県住みます芸人「上原チョー」によるお笑いライブが行われ、子どもからお年寄りまで楽しみました。

子どもたちが仮装でまちを練り歩く ハロウィンパレード



仮装をしてパレードする子どもたち。

10月31日(日)、烏山市街地で「ハロウィンパレード」が行われ、仮装をした子どもたち66人がハロウィンを満喫しました。

このパレードは、市内の英語塾に通う仲間たちで、ハロウィンをみんなで楽しく過ごそうと初めて企画したものです。

キャラクターや魔女など様々な仮装をした子どもたちは、山あげ会館をスタートした後、清水川せせらぎ公園でレクリエーションをしたり、旧烏山市街地を練り歩きました。

パレードを企画した森成さつきさんは、「たくさんの子どもたちが楽しんでくれてよかった。これからも、地域で盛り上げられるようなことをしていけたら」と話していました。

小河原の小堀さん宅で 雄のイチョウにギンナン？

第4回神長そばまつり

神長のそばにまつり

神長そばまつり実行委員会齋藤照雄会長では、11月15日(日)、今年で4回目となる「神長そばまつり」を神長公民館で開きました。

当日はあいにくの空模様でしたが、地域住民など約250人が訪れ、採れたてのそばを味わいました。このそばは神長で収穫されたものが使われ、さらに地元神長の人たちによって手打され、振る舞われました。

ほかにも、野菜やモツ煮などが販売され、訪れた人々は地元の味覚を存分に堪能しました。



神長特製のそばを提供。

大木須で新そばまつり けんちんそばが大盛況

(一社)里山大木須を愛する会(堀江一慰代表)では、11月22日(日)、オオムラサキ公園で第22回「大木須新そばまつり」を開き、市内外から約850人が訪れ、新そばの味を楽しみました。

地域で採れた野菜をふんだんに使った「けんちん汁」に大木須産の「そば」は味わい深く、毎年楽しみに訪れるリピーターも少なくないとか。今

年も「けんちんそば」コーナーには、100メートル近い行列ができるほどの人気ぶりでした。また、大木須特製「焼きおにぎり」や「芋串」も好評を博しました。

会場内では、烏山中学校郷土芸能部によるお囃子(はやし)の演奏がまつりに華を添え、にぎわいをみせました。

曲田収穫祭 地域で採れた食材を味わう

曲田自治会では、11月23日(月・祝)、(南)栗山駐車場で「収穫祭」を開き、地域住民約50人が地域で採れた食材を味わいました。

この収穫祭は、6年前に地元の有志が地域で交流を図ろうと開いたもの。現在は、1年の収穫の喜びをみんなで分かち合おうと自治会をあげて毎年開かれています。当日は、地域で採れた野菜を使用した「けんちん汁」や「焼きそば」などが振る舞われ、参加者全員で温かい料理を囲みました。



わきあいあいと料理を囲む地域住民。

小河原の小堀道和さんの自宅
で、樹齢約100年の雄のイチヨウの木にギンナンが実りま
した。
イチヨウは雌雄異株で、通常、



ギンナンを手にする小堀さん。

種子となるギンナンは雌の木に
実ります。しかし、小堀さん宅の
イチヨウの木の下に、10月10日
頃、5個のギンナンが落ちてい
るのを小堀さんが発見。数日後

には、さらに2個見つけました。
イチヨウの研究を続ける徳島
大総合科学部の佐藤征弥准教授
によると、「大変珍しく、面白い
現象」と話し、1901年に日本
の学者が世界で初めてイチヨウ
の雌化を報告しており、アメリ
カでも報告例があるとのこと。
「突然、雄の木のある部分が自然
に雌化してギンナンを実らせる
ことがある。原因はいまだに不
明」ということでした。
小堀さんは、「最初に見つけた
ときは付近にイチヨウの木はな
いし、勘違いだと思った」と驚い
た様子で話していました。

おめでた

赤ちゃん名 (保護者)住所

山口陽 (和宏・優子)旭2丁目
 斉藤悠真 (真・はる香)野上
 秋田陸虎 (昭夫・厚子)野上
 古口蓮海 (光・佳代)向田
 小池悠月 (夏樹・美帆)小倉
 小川空澄 (允土・葵津子)福岡
 鈴木常晃 (士乃夫・奈保)鴻野山
 佐藤大翔 (真人・美佳子)南大和久
 吉澤計二 (勇之介・夏志)鳥

※ここでは、保護者等の了解が得られた情報のみを掲載しています。

スポーツの結果

●第46回南那須地区小学校陸上競技大会

(10月17日(土)、大桶運動公園)

【5年生男子】

△100M▽第1位：藤田颯斗(七合小)
 △第3位：川勾涼平(鳥山小) △80MH▽
 △第1位：小口流星▽第2位：南川叶羽(江川小)▽第3位：湯家谷怜央(荒川小)
 △1000M▽第1位：藤田颯斗(七合小)▽第2位：小田戸葉春(境小) △走り幅跳び▽第1位：棧敷翼(七合小)▽第2位：小田戸葉春(境小) △走り高跳び▽第2位：湯家谷怜央(荒川小)▽第3位：永井学翔(江川小)、鈴木春人(鳥山小) △ソフトボール投げ▽第1位：

川勾涼平(鳥山小)▽第2位吉葉倅太(荒川小) △400MR▽第1位：鳥山第二A▽第2位：鳥山第一A

【6年生男子】

△1000M▽第1位：五月女琢矢(鳥山小)▽第3位：小池愛友(荒川小) △80MH▽第1位：小池愛友(荒川小) △走り幅跳び▽第2位：五味翔翔(荒川小) △走り高跳び▽第1位：五月女琢也(鳥山小)▽第3位：神長柚(七合小) △ソフトボール投げ▽第3位：寺澤賢俊(江川小) △400MR▽第2位：南那須B

【5年生女子】

△100M▽第3位：伴伊純(荒川小) △80MH▽第3位：寺澤花梨(鳥山小) △800M▽第3位：内藤瑠奈(荒川小) △走り幅跳び▽第3位：大木朋(境小) △走り高跳び▽第1位：斎藤みづき(七合小)▽第3位：滝口亜衣(江川小)、池田亜優(鳥山小) △400MR▽第2位：鳥山第一A▽第3位：鳥山第二A

【6年生女子】

△100M▽第3位：相田陽菜(江川小) △80MH▽第3位：山田桃香(鳥山小) △800M▽第3位：高野愛結(荒川小) △走り幅跳び▽第1位：川上彩音(鳥山小)▽第2位：高橋由衣(七合小)▽第3位：春日一花(七合小) △走り高跳び▽第3位：関悠花(鳥山小) △400MR▽第2位：鳥山第一A▽第3位：鳥山第二A

●平成27年度栃木県民スポーツ大会

(10月18日(日)、25日(日)、県総合運動公園他)

【ゲートボール】▽準優勝：那須鳥山市
 【ソフトボール】▽第3位：那須鳥山市

【テニス】▽第3位：那須鳥山市

【サッカー】▽第3位：那須鳥山市

●第21回会長杯混合ソフトボール大会

(10月13日(火)・15日(木)、緑地運動公園)

▽優勝：藤田クラブ △準優勝：こぶし台クラブ △第3位：鴻野山ウエスターズ、八ヶ代クラブ △最優秀選手賞：塩田一幸(藤田) △優秀選手賞：須田秀斗(こぶし台)

●秋季婦人バレーボール大会

(10月19日(日)、南那須中学校)

▽優勝：屋敷ミストレス △準優勝：日野町婦人 △第3位：藤田バレー

●第10回那須鳥山市秋季市民ソフトテニス大会

(10月25日(日)、緑地運動公園)

【中学生男子】▽優勝：千葉虎磨、仲山裕真(南那須中) △準優勝：阿久津主志、佐藤輝(南那須中) △第3位：岩間寛和、石川朋樹(南那須中)、矢野佑亮、阿久津至(鳥山中)

【中学生女子】

▽優勝：高橋滯、南木峻(南那須中) △準優勝：片岡悠衣菜、碓氷瑞紀(南那須中) △第3位：星野百乃香、碓氷華(南那須中)、和田遥菜、谷口瑚波(南那須中)

【一般男子】

▽優勝：阿久津勇由、阿久津武々 △準優勝：久郷啓二、荒井由裕 △第3位：木下光司、高瀬捷夫

【一般女子】

▽優勝：丸山ミツイ、丸山七海 △準優勝：坂主慶子、平野幸子 △第3位：青木とみ子、矢野遥奈

【シニア男子】

▽優勝：糸川秀夫、谷口弘海 △準優勝：平野元、堀江豊水 △第3位：大山賢一、鈴木弘

【シニア女子】▽優勝：古内晴代、久保田

葛子 △準優勝：佐藤万理子、藤田カ

子 △第3位：福島トミ子、米山由美子

●第10回関東選抜生涯軟式野球大会

(11月3日(初)・4日(内)、緑地運動公園)

▽第3位：鳥山スネークス

●合併10周年記念第10回市民剣道祭

(11月7日(日)、七合小学校)

【小学1・2年生の部】▽優勝：小西勇太(宏倫剣道スポーツ少年団) △準優勝：渡辺錬(宏倫剣道スポーツ少年団) △第3位：滝口桃子(宏倫剣道スポーツ少年団)、小森咲芽(鳥山剣道教室)

【小学3・4年生の部】

▽優勝：鈴木佳実(宏倫剣道スポーツ少年団) △準優勝：高野裕翔(鳥山剣道教室) △第3位：沖村愛希(宏倫剣道スポーツ少年団)、人見心々(宏倫剣道スポーツ少年団)

【小学5・6年生の部】

▽優勝：小森稜太(鳥山剣道教室) △準優勝：北側雄大(宏倫剣道スポーツ少年団) △第3位：小西美波(宏倫剣道スポーツ少年団)

【中学生男子の部】

▽優勝：滝口恭弘(南那須中) △準優勝：人見匠真(南那須中) △第3位：高橋朋也(鳥山中)

【中学生女子の部】

▽優勝：小池日菜実(南那須中) △準優勝：小森有芽(鳥山中) △第3位：堀江心乃(鳥山中)

【一般の部】

▽優勝：伊藤直樹 △準優勝：松永史郎

■おわびと訂正

・11月号21ページ「文芸(短歌)」の記事で「川手トヨ(大金)」とあるのは、「川手トヨ(金井)」の誤りです。おわびし訂正します。

ご寄付ありがとうございます

■那須烏山市奨学基金

・秋山久様(東京都小平市)から2万円が本市に寄付されました。

■ふるさと応援寄付金

・富岡和男様(神奈川県川崎市)から10万円が本市に寄付されました。

■竹細工工芸作品の寄付

・増渕正一様(上境)から本市に竹細工工芸作品「ここなす姫・からすまる・やまどん」1点が寄付されました。



受賞おめでとうございます

■8020運動表彰(敬称略)

▽8020表彰財団賞…阿久津三四郎(野上) ▽栃木県歯科医師会長賞…斎藤富子(熊田)、阿久津妙子(下境)

市の人口

2015.11.1現在
()対前月比

人口 26,916(-15)

男 13,288 女 13,628

出生 12 死亡 25

転入 46 転出 48

世帯数 9,624

※平成22年国勢調査を基に集計した統計人口です。

編集後記

〇いよいよクリスマス!プレゼントは何をお願いしましたか?私は、毎年考えすぎて欲しい物が決まらず…今年もまだ決まっていません(笑)。〇話は変わりますが、数ヶ月前についに母が「スマホデビュー」をしました!と・こ・ろ・が、使いこなせるはずがなく四苦八苦。最近やっと慣れてきたようなのですが、先日、「じゃあね～」と言って電話を切ろうとしたら、向こう側からずっと声が聞こえているではありませんか…!〇携帯に耳に当ててみると、「ん?〇押せばいいの?え?□?」と父。「え、違うよ、こっちだよ?」と母。どうやら電話を切ることができない様子。〇その直後に電話は無事切れましたが、その後は…?しばらくは、使い方のレッスンが必要なようです…。

新着図書

南那須図書館 ☎0287-88-2748 Fax88-0204

烏山図書館 ☎0287-82-3062 Fax82-7566

★図書館HPから新着図書が検索できます。★
<http://www.lib-nasukarasuyama.jp/>

●一般図書●

- 『ニッポン沈没』 斎藤 美奈子
- 『孤独病』 片田 珠美
- 『株はよみがえった』 鈴木 亮
- 『シャワーお灸』 白神 典明
- 『ひざの激痛を自分で治す最強事典』 内尾 祐司
- 『やめたい食べグセ』 森 拓郎
- 『クックパッドのスーパー節約レシピ』 クックパッド株式会社
- 『一〇〇歳が聞く一〇〇歳の話』日野原 重明
- 『人は怖くて嘘をつく』 曾野 綾子
- 『ギブ・ミー・ア・チャンス』 荻原 浩
- 『寮生』 今野 敏
- 『わかれ』 瀬戸内 寂聴
- 『運命の花びら 上・下』 森村 誠一
- 『ウォーク・イン・クローゼット』綿矢 りさ
- 『だれもが知ってる小さな国』有川 浩

●児童図書●

- 『怖くて不思議な妖怪伝説 '異ノ巻』 逢魔 リョウイチ
- 『食品添加物キャラクター図鑑』左巻 健男
- 『世界を動かすことば』百瀬 しのぶ
- 『よくわかる植物工場』 古在 豊樹
- 『走れ!みらいのエースドライバー』 吉野 万理子
- 『みんなのおばけ小学校』市川 宣子
- 『死神うどんカフェ1号店』石川 宏千花
- 『まよいねこポッカをさがして』長井 理佳
- 『目がみえない耳もきこえないでもぼくは笑ってる』 佐々木 志穂美
- 『とおいほしでも』 内田 麟太郎
- 『こちょこちょあそび』きむら ゆういち
- 『かぜひいた…』 小池 アミイゴ
- 『チョコレートだいすき』デヴィッド カリ
- 『ねんどママりんごがり』ゆきの ゆみこ

新米の出来をたしかめ粒を噛む 青木 カツ(中山)	濁り無き母なる川よ鮭のぼる 伊藤 博志(田野倉)	産土の秋見納めの九十九髪 三森 純子(中央)	天高し土木遺産の橋渡る 伊東 澄子(中央)	俳句 齋藤 穂選	顔の皺見事に埋める厚化粧 杉山幸栄子(ハケ代)	おもてなし器に秘めた食文化 石川 義郎(興野)	海外で生まれた孫が里帰り 羽石 妙子(向田)	川柳 篠崎 酔月選	打つ太鼓煽る熱気の秋祭り 船山 栄一(熊田)
-----------------------------	-----------------------------	---------------------------	--------------------------	-------------	----------------------------	----------------------------	---------------------------	--------------	---------------------------

作品募集 毎月10日までに、総合政策課広報統計担当 〒321-1069 那須烏山市中央1丁目1番1号あて、郵送で作品をご応募ください。	思い出に木造校舎のオルガンで唱歌 うたいし記憶鮮し 川保登志子(旭)	秋日和優しき陽射しに包まれて竜頭 の滝に映ゆる紅葉 矢口 玄鳥(大金)	わが旅路に残る余白は幾許か清しく 生きよと黄水仙咲く 吉澤 紅月(南)	短歌 福澤 悦子選	青空を群れ飛ぶハンググライダー海 中を泳ぐ魚のように 安藤 伯麗(旭)	文芸
---	--	---	---	--------------	---	----



どうくつコンサートで等が美しい音色を奏でる。



境橋を見学する参加者たち。



どうくつを照らす和紙照明。

近代化遺産全国一斉公開2015 in なすからすやま バスツアーとコンサートを満喫

本市を活性化するために県内4大学と鳥山高校などで組織し活動する、那須烏山市まちづくり研究会(福島二郎委員長)では、11月23日(祝)「近代化遺産全国一斉公開2015 in なすからすやま」を開きました。

今年で3回目となった近代化遺産バスツアーは、市内外から34人が参加し、「宇都宮市水道施設群今市浄水場管理事務所」や本市の近代化遺産として知られる「境橋」、「東京電力機械製造(株)地下工場跡(どうくつ酒蔵)」を巡りました。

見学地では、同研究会委員長の福島二郎足利工業大学准教授が建築物の特徴などを解説。雨という悪天候にも関わらず、参加者たちは傘を差しながら熱心に解説に耳を傾けていました。

毎年恒例の鳥崎酒造どうくつ酒蔵で開かれた「どうくつコンサート」では、箏奏者兼作曲家の本間貴士さん、箏・二十五絃箏・薩摩琵琶奏者の多田彩子さん、パーカッション奏者の阿原壮平さんによる「箏奏者・本間貴士現代箏曲コンサート」を開催。本間さんが作曲し

た「宵花」や「紫月」など4曲が披露され、150人の観客たちは、箏が奏でる美しい音色に優雅なひと時を過ごしました。

また、どうくつ内には、和紙灯り作家の鎌田泰二さんが手掛けた、和紙の照明が辺りを照らし、幻想的な世界が広がっていました。

なお、同研究会では、本市のさらなる活性化に向けて様々な事業や催しを行っていく予定です。

紅葉見頃を迎える

11月に入り、紅葉の見頃を迎えました。その様子を写真で紹介いたします。



関東の嵐山といわれる「落石」の紅葉。



大平寺の石段に広がるモミジのじゅうたん。

有料広告

ナスカラ市場

おかげさまで多数の注文を頂いている
「烏山山あげ牛」ご家庭用できました!!
ナスカラ市場で店頭販売中!

リブロースステーキ 3,500円(税別)

焼肉用カット 3,500円(税別)

大金駅前観光交流施設「ナスカラ市場」 栃木県那須烏山市大金155-4
 ☎0120-83-1147